

# バレーボール競技実施要領

## 1. 開 催 期 日

令和7年9月28日（日）

## 2. 開 催 会 場

新青森県総合運動公園（マエダアリーナ） メインアリーナ  
〒039-3505 青森市宮田高瀬22-2 TEL：017-737-0601

## 3. 競 技 方 法

競技は現行の『全国障害者スポーツ大会競技規則集』に準ずる。

- (1) トーナメント方式とする。
- (2) 試合毎の登録選手は6名以上12名以内、チームスタッフは3名以内とする。ただし、申込時は選手を最大20名までエントリーできる。
- (3) 競技終了後に表彰式を行う。
- (4) プロトコール制を採用する。プロトコールは、令和7年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則に準拠し11分で行う。但し、出場チームが連続して試合を行う場合は、前試合終了20分後にプロトコールを開始する。この時間は両チーム同意の下、短縮することが出来る。
- (5) 詳細については別紙「第33回青森県障がい者スポーツ大会バレーボール競技規則」を参照。

## 4. そ の 他

- (1) 開始式は行わず、表彰式は競技終了後に競技会場で行う。
- (2) 健康・安全管理  
大会参加にあたっては、事前に医師の診察を受けるなど、自己の責任において健康及び安全に十分留意すること。  
なお、主催者においては応急処置を行う以外、一切責任を負わないものとする。
- (3) 昼食及び練習球は各チームが用意すること。
- (4) 当日練習会場は用意していないため、空きスペースを利用して練習すること。

## 第33回青森県障がい者スポーツ大会バレーボール競技規則

本競技は令和7年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則に準拠する。

また、青森県障がい者スポーツ大会バレーボール競技特別ルールを設ける。

但し決勝戦については、全国障害者スポーツ大会バレーボール競技規則に準拠する。

### 第1条 チーム

1. チーム構成は監督1名、コーチ1名、マネージャー1名及び選手12名以内とする。
2. 男女混合でチームを構成する。

### 第2条 競技方法

1. 競技はトーナメント方式とし、3位決定戦は実施しない。ただし、出場チーム数により競技形式を変更する場合がある。組み合わせは、主催者において代理抽選を行い決定する。
2. コートは18m×9mの広さを持つ長方形とする。
3. ネットの高さは2m24cmとする。
4. 試合球は日本ソフトバレーボール連盟公認球のソフトバレーボール球・糸巻きタイプ（モルテン製円周78±1cm、重量210±10g）とし、主催者が用意する。
5. 全試合は3セットマッチとし、2セットを先取したチームを勝ちとする。
6. 1セット15点のラリーポイント制とする。なお、得点が「14対14」の同点になった場合、それ以降は2点リードしたチームをそのセットの勝者とする。
7. 第3セットは、15点制で行い、コートチェンジはいずれかのチームが8点を先取したときに行う。
8. 試合中は少なくとも1名以上の女性プレーヤーが出場していなければならない。
9. 試合はワン・ボールシステムで行う。
10. それぞれのチームには、1セットにつき最大2回のタイムアウトと、6回の競技者の交代が認められる。（監督者あるいはゲームキャプテンのみが要求できる）交代の際には、6人制競技規則に基づいた交代の方法を取る。
11. スターティング・ラインアップの競技者は交代によりコートを離れても、1セットにつき一度だけスターティング・ラインアップの元のポジションに戻ることができる。
12. タイムアウトは1セットにつき2回（1回30秒）取ることができる。
13. 例外的な交代として、リベロ、セカンドリベロまたはリベロの入替選手以外で負傷等発生時にコートにいなかった選手が代わりに出場することができる。  
交代後も必ず女性選手が1名以上出場していなければならない、不可能な場合にはその時点でゲーム終了とし、そのセットより無効となり不戦敗とする。
14. サービスの実行
  - (1) サーバーはファーストレフェリーがサービスのホイッスルをした後、8秒以内にボールをヒットしなければならない。
  - (2) サーバーはエンドラインの後方、かつサイドライン延長線の内側で打たなければならない。その際にエンドラインを踏んではならない。
  - (3) サービスはボールがトスされたか手から放たれた後、片方の手または腕のいずれかの部分

でヒットしなければならない。(片方の手の平に置いたままのボールをもう片方の手で打つことはできない)

15. サービスヒットの瞬間、両チームは(サーバーを除き)それぞれのコート内に位置していなければならない。レシービングチームの選手はサービスヒット時、ローテーション順に位置していなければならない。サービングチームの選手はサービスヒット時、どの位置にいてもよい。
16. サービスを直接アタックもしくはブロックして相手コートに返すことはできない。
17. リベロプレーヤーの登録は、チームで決めても良い。登録する場合は、リベロプレーヤーは他の競技者と区別できる色のユニフォーム(もしくはビブス)を着用すること。

### 第3条 服 装

1. チームユニフォームは統一したものを着用し、背番号がはっきり見えるようにすること。なお、背番号は1番から12番までが望ましい。
2. 背番号は、ビブス等の着用による代用も認めるが、選手の背番号は固定とする。
3. チームキャプテンは胸のナンバーの下にマーク(横線)を付けなければならない。

### 第4条 監督、コーチ、キャプテン

1. 競技中断中、ゲームキャプテンだけが審判に対して話することができる。
2. 監督はベンチの記録係席に最も近い位置に座る。しかし、ベンチを離れても良い。
3. 監督は試合を妨害あるいは遅延しない限り自チームベンチ前のアタック・ラインの延長線からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。
4. コーチはベンチに座るが、試合に介入する権限はない。
5. 監督、コーチ、マネージャーは左胸部に規定のマークをつけること。

### 第5条 決 勝 戦

1. 試合は3セットマッチとし、2セット先取したチームを勝ちとする。
2. 各セット25点のラリーポイント制とする。  
なお、得点が「24対24」の同点になった場合、それ以降は2点リードしたチームがそのセットの勝者とする。
3. 第3セットは25点制で行い、コートチェンジはいずれかのチームが13点を先取したときに行う。
4. その他、第2条の競技方法と同じ。

### 第6条 そ の 他

1. 試合設定時刻の11分前にプロトコール(コイントス・記録用紙へのサインを経てから公式練習へ)を行う。
2. 競技規則に定めがないものは、6人制競技規則によるものとする。
3. 応援に関しては、吹笛に支障を与える鳴り物は使用しないこと。

# 第33回青森県障がい者スポーツ大会 バレーボール競技 日程・組合せ

## 競技日程

|       |            |
|-------|------------|
| 監督会議  | 9：30～9：45  |
| 競 技   | 10：10～     |
| 第1試合  | 試合番号 A1・B1 |
| 第2試合  | 試合番号 B2    |
| 準決勝戦  | 試合番号 A2・B3 |
| 決 勝 戦 | 試合番号 A3    |

